情報通信

カテゴリを横断する音色探索システム

用途・応用分野

- 音サンプルの関係性を音響特徴量に応じて可視化
- 効果音や音楽の楽器音の選択支援

本技術の特徴・従来技術との比較

- 楽器や音源の種類に依存しない音色の選択支援
- 音響特徴量として様々な観点（音楽的な特徴、立ち上がり、減衰など）を元に比較
- 音の探索過程が可視化されてログを記録可能

技術の概要

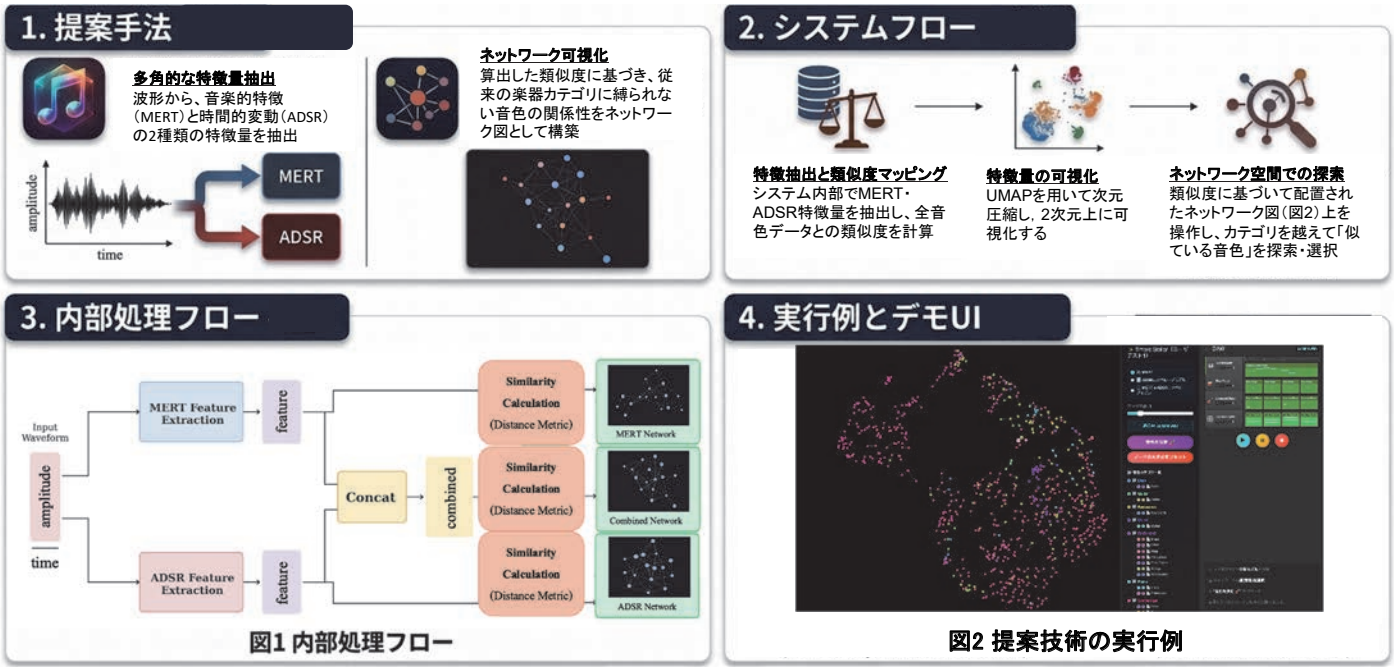

図1 内部処理フロー

図2 提案技術の実行例

特許・論文

＜特許＞

「システム、方法、及び、コンピュータプログラム」（特願2025-72652）

＜論文＞

- 米田美優，山西良典，伊藤貴之：音色の階層的ネットワーク可視化によるカテゴリ横断型音色探索，情報処理学会第145回音楽情報科学研究会，2026年2月
- M. Yoneda, R. Yamanishi: Supporting Composers to Retrieve Synthesizers by Exploring Network for DAW-based Music, 29th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems, 2025年9月

研究者

山西　良典

総合情報学部　総合情報学科

山西研究室

お問合わせ先

関西大学 社会連携部 産学官連携センター

TEL：06-6368-1245

MAIL：sangakukan-mm@ml.kandai.jp